

「和田家おうらい」の多言語化対応について ～多言語化とオープンデータ化による活用拡大～

井上 透・佐藤 正明・山中 マーガレット
和田 正人（白川郷和田家）・田山 健二（TRC-ADEAC 株式会社）

1. 概要

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所は 2018 年 4 月、日本語と英語による「和田家おうらい」を、TRC-ADEAC が提供するデジタルアーカイブシステム ADEAC より提供を開始した。その後、中国語（簡体字・繁体字）、タイ語、韓国語の多言語化を行い 11 月 3 日に 4 言語を追加した。本論考は多言語化のプロセスとクリエイティブ・コモンズ・ライセンスによるオープンデータ化、NDL サーチ、ジャパンサーチとの連携による活用拡大について報告する。

2. 白川郷和田家コンテンツの歩み

白川郷は、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として平成 7 年に富山県五箇山の菅沼・相倉と共にユネスコの世界遺産に登録された。

豪雪地帯で厳しい生活が強られる土地ではあるが、「結」と呼ばれる生活や生産の全般にわたる近隣の協力体制が受け継がれ、屋根の葺き替え作業などが行われている。

白川郷で最大の規模を持つのが和田家の合掌造り住宅である。和田家は江戸時代中期から後期に建造されたと推測されている。和田家当主は、牛首口留番所の役人を勤め(18 世紀末頃)、また「焰硝(火薬の原料)」の製造と取引によって富を築いた。

白川郷の中心的な存在で、国の重要文化材である和田家に関する多くのデジタル資料を本学は収集している。集積したデータを活用し、「和田家おうらい」¹として日本語と英語を併記したガイドブックを 2017 年に制作・出版した。このデータをベースに、和田家当主和田正人様およびご家族の皆様のご協力により再度権利処理を行い、国内最大規模のデジタルアーカイブクラウドサービスである ADEAC から「和田家おうらい」²として公開した。

3. 多言語化

(1) 英語翻訳

白川郷は、日本人のみならず世界の各地から多くの人を訪れている。そのため、2017 年に制作・出版した「和田家おうらい」は、英文解説を併記している。英語訳の作成に当たって、日本人とは文化的なコードが異なることから副次的な解説を追記している。デジタルアーカイブ公開にあっては、この翻訳データをベースに冊子にない日本語版データを英語に追加翻訳を行い提供した。

(2) 英語以外の翻訳

英語訳に比較して、中国語（簡体字・繁体字）、タイ語、韓国語の多言語化について委託した翻訳会社は、日本語からそれぞれの言語へ直接の翻訳を行った。この方法は、日本語に堪能な各国語の日本在住者による翻訳のため、利用者にとって違和感のない、自然な翻訳が実現できたが、英語経由からの翻訳ではないことから英語翻訳に当たって配慮した意識が継承されないとの問題に遭遇し、各翻訳家の裁量に任せざるを得なかった。また、翻訳校閲にあっても、本学に追加した該当言語の専門家が不在のため、業者の行う内部チェックに依存せざるを得なかった。なお、内容が重複する冊子である「飛騨おうらい」³を日本語、英

語だけでなくタイ語で作成しており、この冊子によりタイ語の翻訳精度を高めることに大きく寄与した。

これらの作業に時間を要したことから、当初の予定より遅れ11月3日に4言語を追加することとなった。

リリース後に全ての翻訳者に評価を依頼したところ3つの指摘があった。

① 繁体字翻訳者より、「仕事のアウトカムが見られて、とても感動でした。「和田家おうらい」の内容そのものは面白くて、実際に訪ねて行きたいと思います。ただ繁体字版は文字サイズが小さく、少し読みにくいです。外人目線からすれば、やはり文字サイズをもっと大きく、ぱっと見ればすぐ確認できるのではないかと考えられます。」(全文)

② 韓国語翻訳者より、「メインページの「韓国語(한글)」の項目が小さく、その下にはすぐ日本語のテキストが出てくるので少し見難い感じがする上に、目次に入ると見ることができる内容に背景などがなく、シンプルなのはいいですが、ウェブサイトをみるというより、大学などのテキスト資料を見るような気がして、少しシンプル過ぎるのでは…?と思いました。」(全文)

③ タイ語ネイティブ(チェック者)より、

『和田家おうらい』についての感想

○分かりやすかった点

- ・和田家外観(合掌造りの説明)なぜこういう形になっているのか分かりやすい説明でした。
- ・和田家内部の様子説明:図があってイメージしやすい
- ・和紙、仏間、おえ、行事など写真と5行以内の説明文章(タイ人は長い文章を読まないで、写真とちょっとした説明がタイ人にとって分かりやすいのではないかと思います)

○難しかった点

- ・「白川郷」と和田家の内容がちょっと長くて難しかったです。多分ほとんどのタイ人が読まないかもしれません。」(全文)

以上の指摘を受け、11月中に文字サイズ等の修正をおこなったが、文化的な違いを解消するための改善については今後の課題となった。

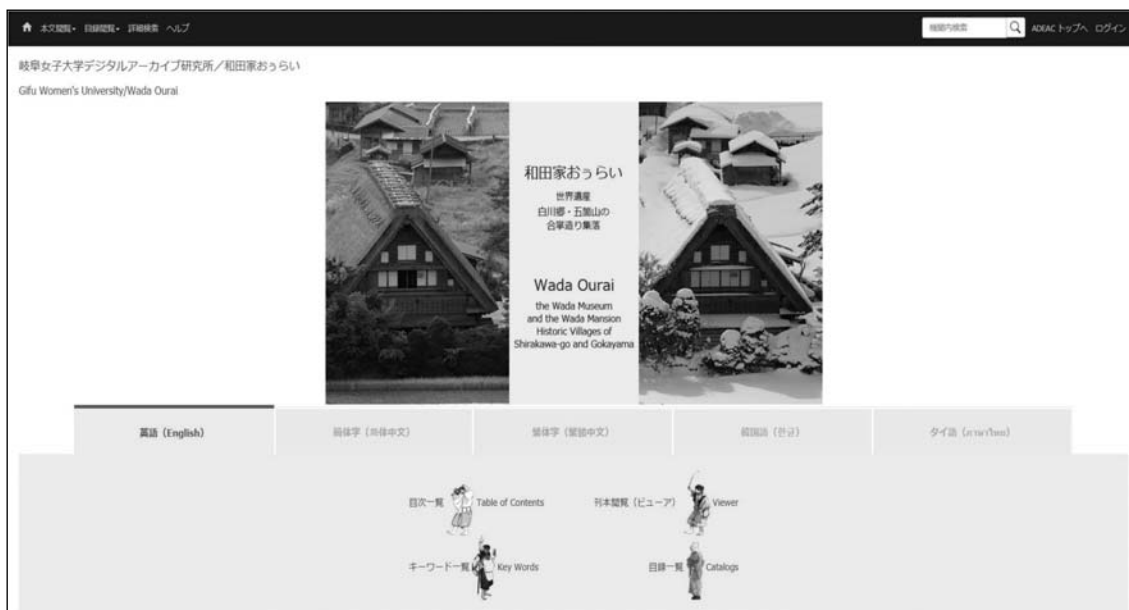


図1 「和田家おうらい」トップページ

4. オープンデータ化による利用拡大

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所は2018年4月、日本語と英語による「和田家おうらい」をデジタルアーカイブシステム ADEAC より提供を開始した。ADEAC は、2013年3月から運用を開始した TRC-ADEAC (株) のデジタルアーカイブ提供をクラウドにより実現したプラットフォームシステムである。⁴ 現在、図書館・大学等の87機関が所蔵する多様な史資料が、ADEAC を通じて利用されている。ユーザーは無償で高精細画像データを閲覧できると同時に、ADEAC 内の全てのテキストデータの横断検索が可能である。

さらに、国立国会図書館サーチ (NDL Search) や、2019年2月には内閣府が主導し、国立国会図書館が開発を担当した書籍等分野、文化財分野、メディア芸術分野など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携した。我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できる「国の分野横断統合ポータル」ジャパンサーチ (Japan Search) BETA 版との連携は、国内外の膨大なデジタルアーカイブ利用者に所在情報を提供することとなった。

(1) メタデータ公開による利用拡大

ADEAC システムで公開されているメタデータ(目録データ)は、OAI-PMH プロトコルにより国会図書館に提供され、国立国会図書館サーチ (NDL Search) やジャパンサーチから検索できる。

さらに、アメリカ合衆国図書館等への情報提供サービスで知られる EBSCO 社⁵ と TRC-ADEAC が同様のプロトコルによるデータ提供について提携することで、2019年中に ADEAC システムで公開されているメタデータ(目録データ)を EBSCO Discovery Service(以下「EDS」)⁶ 上でも検索できる予定で準備が進められている。

(2) ライセンス表示による2次利用拡大

デジタルアーカイブは公共財・オープンデータとしての性格を有することが求められてきた。オープンデータとは機械判読に適したデータであり、利用のライセンス表示をすることで二次利用が可能なデータとされている。

クリエイティブ・コモンズ・ライセンスは、著作権者の許可する範囲内であれば自由にコンテンツを使用できることを証明し、作品の流通を図るための活動全般と、活動する団体(活動母体はアメリカの非営利団体)を指す。各国の著作権法に則った活動が行われており、日本はクリエイティブ・コモンズ・ジャパン⁷が日本の著作権法に準拠した規定を設けている。「BY表示」、「NC非営利」、「ND改変禁止」、「SA継承」の4要素の組み合わせによる6種類があり、この他にパブリックドメインに関する「CC0」「PD」の2要素(種類)がある。

国内外の学生のみならず多くの社会人にも広く利用されるためにクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの CC-BY (岐阜女子大学の名称を入れることを条件に自由利用を認めている)によりオープンデータとして提供している。

(3) アクセス状況

2018年4月のデジタルアーカイブ提供開始から1年間のアクセス状況は表1である。

表 1. 和田家おうらい アクセス数 (2018 年)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
総アクセス数	3,699	2,466	3,503	1,878	2,201	2,618	1,611	6,272	2,062	2,112	2,073	4,106	34,601	2,883
トップ画面アクセス数	288	517	313	159	172	270	184	361	193	154	163	828	3,602	300.17

中国語（簡体字・繁体字）、タイ語、韓国語の多言語化を行った 11 月のアクセスは、最大の 6、272 件のページビューがあった。2 月末のジャパンサーチ公開を受けて 3 月は 4、106 件になっていた。月平均が 2、883 件であった。アクセス数を伸ばすためには、認知度を多様な広報手段でアップするとともに、伝統文化教育、修学旅行での活用を増やす等、活用のデザインを広げていく必要がある。

5. 権利処理

(1) 一般的な撮影著作物利用承諾書

これまで岐阜女子大学で使用してきた著作権者からいただく承諾書は図 2 である。

「著作権者用」

承 諾 書

私が著作権を有する著作物である、〔撮影対象物名を入れる〕において、岐阜女子大学が撮影した映像を、岐阜女子大学が複製・引用・改変を伴う下記の利用行為を反復して行うことについて承諾します。

1. 印刷物や電子メディアを通じての広報活動
2. 研修や授業(遠隔授業を含む*)及びテキスト等の教育利用
 - * 岐阜女子大学(送信局)において、複製し、公衆送信(送信可能化を含む)し、及び公に上映するとともに、受信局において、公に伝達し、複製し、及び公に上映すること。
3. 研究活動における利用

年 月 日

住所

署名

図 2 一般的な撮影著作物利用承諾書

対象著作物の映像について、著作権の財産権及び人格権（同一性保持）にかかる複製・引用・改変を反復して行うことについて承諾得るものである。承諾者の記載内容は、①撮影著作物、②利用目的、③承諾日時、④承諾者住所、⑤承諾者であった。

(2) クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに対応した申請書

「和田家おうらい」のデジタルアーカイブ公開については、岐阜女子大学の名称を入れることを条件に2次利用時の自由度が高いクリエイティブ・コモンズ・ライセンスのCC-BYの付与を目指した。そのため、内部の会議や ADEAC 側と打ち合わせで決定した申請書はより具体的な資料・成果物及び利用形態を入れた図3となった。

収集資料・成果物利用許可願

利用許可願 号
平成 年 月 日

〇〇〇〇 様

申請者
岐阜女子大学学長
〇〇 〇〇

下記収集資料・成果物を広く公共財として利用させていただきたく、申請いたします。

<p>1. 利用したい資料・成果物</p> <p>「〇〇〇〇」及び同資料に掲載したコンテンツ 〇〇〇〇氏による「〇〇〇〇オーラルヒストリー」 研究資料「〇〇〇〇」（〇〇〇〇 著） 研究資料「〇〇〇〇」（〇〇〇〇 著）</p>
<p>2. 利用形態</p> <p>A インターネットでの公開 （公開は TRC-ADEAC 株式会社 が制作運営する ADEAC®（アデアック）に委託予定）</p> <p>B テレビ等放送素材として利用</p> <p>C 印刷物の作成</p> <p>D 学術研究での利用及び論文・報告書への掲載</p> <p>E 本学学術研究のための学内データベースへの登録</p> <p>F 資料を広く活用するための公開用データベースへの登録</p> <p>G アプリケーションでの利用</p> <p>H データ分析での利用</p> <p>I 学校教育用資料作成に利用</p> <p>J その他</p> <p style="margin-top: 10px;">[教員免許更新講習、デジタルアーキビスト養成講座等、社会人向け講座] のテキスト、素材として利用</p>

図3 クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに対応した申請書

具体的な、申請者である大学の記載事項は①依頼日時、②申請先氏名、③申請者、④利用したい資料・成果物、⑤利用形態である。

特に利用形態について申請書の記載内容は具体性を持たせた。

A インターネットでの公開

（公開は TRC-ADEAC 株式会社 が制作運営する ADEAC®（アデアック）に委託予定）

B テレビ等放送素材として利用

- C 印刷物の作成
- D 学術研究での利用及び論文・報告書への掲載
- E 本学学術研究のための学内データベースへの登録
- F 資料を広く活用するための公開用データベースへの登録
- G アプリケーションでの利用
- H データ分析での利用
- I 学校教育用資料作成に利用
- J その他（教員免許更新講習、デジタルアーキビスト養成講座等、社会人向け講座のテキスト、素材として利用）となった。

大半を占める岐阜女子大学の許諾の必要はないが、和田家の当主、子息 2 名の著作物に対する、オープンデータ化により生じた許諾であるため、慎重に申請をすることとした。

(3) クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに対応した承諾書

図 3 の申請に対する和田家の 3 人から得る承諾書の記載内容については、申請書が具体的な対象を指示したものであることから、①承諾日時、②申請先氏名、日付、③利用を認める資料・成果物、④利用を認める形態（利用にあつての条件として・2次利用の許可・その場合の商用利用、クレジット（出典）の表示）、⑤承諾者団体・氏名・住所など図 4 とした。

収集資料・成果物利用承諾書	
	平成 年 月 日
岐阜女子大学学長 ○○○ 様	
平成 29 年 10 月 23 日付 利用許可願い 号で申請のありました資料の利用について、次 のとおり承諾します。	
1. 申請のあった資料・成果物 「○○○○」及び同資料に掲載したコンテンツ ○○○○氏による「○○家オーラルヒストリー」 研究資料「○○○○」（○○○○ 著）	
2. 利用にあつての条件等（該当項目に○をつけて示す） ① 二次利用の許可 （インターネットやデータベースで公開する資料を一般の閲覧者が利用することを許可するかどうか）	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
② ①で許可する場合の条件等	商用利用についての条件 <input checked="" type="radio"/> 特に条件なし <input type="radio"/> 以下の条件で利用を許可する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">特記事項なし</div> クレジット（出典）表示について <input checked="" type="radio"/> 表示しなくてよい <input type="radio"/> 表示を必要とする 表示を必要とする場合の記載内容 【記載例：©Gifu Women's University】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">特記事項なし</div> その他、利用についての条件 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">特記事項なし</div>
団体名 ○○○○ 代表者氏名 _____ 氏名 _____ 氏名 _____ 所在地 ○○○○○○○○○○○○	

図 4 クリエイティブ・コモンズ・ライセンスに対応した承諾書以上の権利処理を行い、デジタルアーカイブ公開を行った。

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所/和田家おっらい	
和田家 おっらい 目録データ 静止画 (写真・絵等)	
識別番号	0000-0000-0000-0000-0000-0000-0030-0000
資料所蔵機関の名称	岐阜女子大学
タイトル	> 和田家を中心とした白川郷 
タイトル読み	ワダケオチュウシントシタシラカワゴウ
タイトル (ローマ字)	Wadake o chushin toshita Shirakawago
撮影、作画年 (西暦)	20060927
数値	1
主題	白川郷、合掌造り家屋、和田家、秋
主題読み	シラカワゴウ、ガッシュウズクリカオク、ワダケ、アキ
主題 (ローマ字)	Shirakawago, Gasshozukuri kaoku, Wadake, Aki
関係する地名	岐阜県 白川村 (岐阜県)
関係する地名読み	ギフケン シラカワムラ(ギフケン)
関係する地名 (ローマ字)	Gifuken Shirakawamura (Gifuken)
解説・説明	白川村荻町城跡展望台から望む和田家周辺の様子。
出版物・関連資料	『和田家おっらい』(日本アーカイブ協会, 2017) p3
資料種別	静止画
資料種別詳細	写真
権利関係	 この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

図5 「和田家おっらい」メタ(目録)データ

図5のメタ(目録)データに、「この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。」を表示することが可能となった。

なお、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのCC-BYでの画像及びテキストの公開は、ADEACのシステムでは最初であった。

6. おわりに

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所の代表的なデジタルアーカイブである「和田家おっらい」が、多言語化により白川郷を訪問した国内外の多く訪問者に、ガイド資料として信頼度の高い情報を提供することができた。

さらに、伝統文化教育資料として学校の教育活動において事前・事後学習に活用され、さらに、準備段階からクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの付与により教職員の教材作成に自由に使えることとなった。学生・生徒の資料作成に自由に活用することが可能となっただけでなく、SNSへの発信にもデータを自由に使えるようになった。

デジタルアーカイブの概念は近年大きく変化しつつある。電子化し保存するだけではデジタルアーカイブと言えなくなってきた。さらに、ウェブ公開するだけでなく、検索が可能で2次利用がスムーズになるライセンス表示、2次利用の際に利用者のニーズによって改変(著作権者による著作人格権同一性保持の留保)が可能なデジタルデータでの提供が求められている。

さらに、NDLサーチやジャパンサーチへのメタデータ提供による「和田家おっらい」デ

デジタルアーカイブの利用拡大は、教育だけでなく観光等地域振興、国際的な文化発信など多様な分野で活用される可能性がある。

本学デジタルアーカイブ提供が、知識基盤社会の一助となることを願っている。

本稿は、2019年2月11日に開催されたデジタルアーカイブ in 岐阜における、第12回デジタルアーカイブ研究会において発表した論考『「和田家おうらい」多言語化デジタルアーカイブ開発とオープンデータ化ー多言語化とオープンデータ化による活用拡大ー』に加筆・修正を加えたものである。

「和田家おうらい」多言語化デジタルアーカイブ開発にあたり、オープンデータ化に理解をいただきクリエイティブ・コモンズ・ライセンスCC-BYの実現を可能にいただいた、和田家の皆様に深く感謝する。

引用文献

1. 「和田家おうらい」岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所、2017年
2. 岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所：和田家おうらい、ADEAC:デジタルアーカイブシステム
<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/2120155100> (参照 2019-01-23)
3. 「飛騨おうらい」、岐阜女子大学、2015年 Web版
<http://dac.gijodai.ac.jp/hida/hp/index.htm> (参照 2019-01-23)
4. ADEACの取り組み、田山健二、デジタルアーカイブ研究誌 Vol2.No4、2018年、デジタルアーカイブ学会
5. EBSCO社 <https://www.ebsco.com/about> (参照 2019-01-23)
http://www.ebsco.co.jp/about_us_c.html (参照 2019-01-23)
6. EDS
http://www.ebsco.co.jp/materials/brochure/EDS_overview.pdf (参照 2019-01-23)
7. クリエイティブ・コモンズ・ジャパン <https://creativecommons.jp/> (参照 2019-01-23)

参考資料

1. 地域学習教材の観光メディアとしての活用と展望、瀬戸敦子、山中マーガレット、岐阜女子大学文化情報研究 Vol.19 No.2、2018年、pp5-12
2. 我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性 2017年4月内閣府知的財産推進戦略本部 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/houkokusho.pdf
(参照 2019-01-23)